

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	年2回自己接遇チェックと毎月職員会で個人の価値を低める行為17項目を復唱して意識付けているが、自分の事として具体的な言動に結びつかないのか、尊厳を損ねる言葉使いやケアが見られる。	常に利用者様の気持ちを考え、職員本位にならないよう意識を持ち続ける。	自己接遇チェックは振り返りをしっかり行い、何ができていないのか他者からの目線からもみる。「尊厳を損ねる言動」とは何かを具体的に日々の業務から拾い上げて、一つ一つ改善していく。「認知症」「接遇」研修を繰り返す。	3ヶ月
2	20	馴染みの人や場との関係継続の支援をしている中で馴染みの理美容院へご家族対応にて出かける利用者様には「外出届け」を書いて頂いている。ご家族の都合がつかず美容院のご好意で送迎サービスを受ける方について「外出届け」を頂いていない(過去3回)。急変時・緊急時の責任所在が明確でない。	施設から外出・外泊をする場合は、ご家族の責任において必ず「外出・外泊届け」を頂く。	現在、対象利用者様ご家族に対しては、施設からの趣旨を示したお願いの文章と「外出・外泊届け」用紙を送り、外出・外泊の際には提出していただく。	1ヶ月
3	27	日々の様子やケアの実践など職員間で情報共有できるように、どんなことで「笑顔」が見られたのか大切にしているが、基本的な「記録の書き方」として3月に統一学習した事が守られていない。字が汚く、公文書になるべく意識が低い。要点が掴めず、日常の日記になっている。	適切・的確な表現で記録を行い、職員間で情報共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしていく。	3月に行った統一学習の振り返りとH30年1月に予定している「記録の書き方～応用編～」研修に4名職員が参加し、他職員への伝達学習会をしっかりと行う。表現の適正・不適正を具体的に文章にし、全職員の統一とスキルアップを図る。	6ヶ月
4	35	年3回の施設内訓練を行い、同法人隣接大型施設との協力は得られるが、施設周辺には住宅が少なく顔を見る隣組の関係性は築けていない。運営推進会議では防災に関する協議をした事もあるが、具体的な体制作りまでには至っていない。	日頃から顔なじみの隣組関係や地区行事又は施設行事に相互参加し合える関係づくりをいくことで、有事の際には相互協力体制となるようにしていく。	地区の防災訓練へ参加する。消防団の方々に建物の構造や暮らしている利用者様とも顔なじみになっていただくなど、施設を知っていただく。具体的には施設行事へのご招待や運営推進会議への出席協力など。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。